

<案内> 子どもの権利条約総合研究所 公開シンポジウム

子どもの現場から考える子どもの権利

国連・子ども（児童）の権利条約がグローバルスタンダードになっている今日、子どもの問題を子どもの権利の視点で捉え解決していこうとすることはいまや国際的な潮流であり、要請であるといえます。それは、2016年に改正された児童福祉法が、すべての子どもは条約の精神にのっとり福祉を等しく保障される権利を有すると規定し、児童福祉の理念に条約の精神や規定を位置づけたことなど、国内的にもいえます。

しかし、子どもの権利を抽象的に論じて、あるいは主張しても問題が解決するわけではありません。また、子どもの権利についてはさまざまな捉え方があります。

このようななかで、改めて学校や施設をはじめ「子どもの現場」の現状を知り、そこの取り組みから学び、現場に研究の成果等を返していくことが必要になっています。もちろん、子どもの現場といっても、多様ですし、子ども自身が活動しているNPO・NGO等もあります。

今回は、子どもの現場を担っている方々から、その現場では子どもの権利の現実はどうなっているのか、子どもの権利はどのように捉えられているのか、その現場で子どもの権利を保障するためにどのような取り組みをしているのか（担い手の権利保障も含めて）などについて報告してもらい、検討したいと考えています。いうまでもありませんが、このシンポジウムは、「べき論」を展開するためでも、一つの結論に導くためのものではありません。みなさんとともに、情報と意見を交換し、検討し合う場です。

記

【日 程】2017年5月20日（土）13時～17時30分予定

【場 所】早稲田大学文学学術院（戸山キャンパス）33号館3階第1会議室

【テーマ】子どもの現場から考える子どもの権利

【主な内容】

- 基調報告 子どもの現場から考える子どもの権利
荒牧 重人（子どもの権利条約総合研究所代表）
- 報 告：学校現場と子どもの権利
八田 裕子（滋賀県中学校教員）
スクールソーシャルワーカーの取り組みと子どもの権利
穂刈 幸（東京都北区スクールソーシャルワーカー総括指導員）
施設における子どもの権利
上野 陽弘（情緒障害児短期治療施設「嵐山学園」生活指導部主任）
医療と子どもの権利
依頼中
少年院における子どもの権利
熊倉 ひろみ（法務教官）
- 質疑 討論 まとめ

*なお、終了後、懇親会を開催します。

【問い合わせ先】子どもの権利条約総合研究所・早稲田分室

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院1610研究室

TEL・FAX：03-3203-4355 E-mail：npo_crc@nifty.com